

引っ越しなどで大量にごみが出た場合  
大量の家庭ごみは環境センターへ

引っ越しなどでご家庭で一時的に大量のごみが出た場合は、集積所では回収できませんので、自ら環境センターへ搬入をお願いします。

▶ ふじみ野市・三芳町環境センター

☎ 049-257-5374

【場所】 ふじみ野市駒林 1117 番地

【時間】 月曜日から金曜日（祝日可。年末年始除く）  
8:30～16:00（土曜日は 8:30～12:00）

【搬入時の注意】

- ・町内在住者が申請可能（本人確認書類が必要）
- ・ごみは種類ごとに分別する
- ・2t車以上は搬入不可
- ・誘導員の指示に従う

～ 数字で見える！三芳町のごみ～

平成 27 年度実績

▼ ごみの総排出量（1 年間）※事業系一般廃棄物を含む

14,381 t

▼ 1 日 1 人あたりのごみ排出量

665 g

▼ ごみの収集・運搬・処理経費（1 年間）

約 4 億 6884 万円

1 人あたりのごみ処理経費

三芳町	某優秀市
12,259 円	9,683 円



私たちの使っている資源は有限です。無駄にしていると、いつか無くなってしまいかもしれません。なるべくごみを出さず、再利用することで、資源を未来に残すことができます。

普段、何気なくしているごみ出しが、実は未来の環境へ繋がっているを意識すること。それが「エコでクリーンな三芳町」を作るための第一歩なのかもしれません。

**資源を未来へ循環**

家庭から出るもやすごみの中で一番簡単に減らすことができるものが「生ごみ」です。調理や飲食でのロスを減らすことはもちろん、水切りや乾燥で水分を減らすことも大切です。また、水分を減らすことで臭いの発生を抑える効果もあります。

**生ごみは水切り**

「雑がみ」として回収すれば、新たに再生紙などの製品に生まれ変わることが出来ます。「紙は燃えるから」といって、もやすごみとして捨ててしまうのはもったいないことです。

生まれ変わる『ごみ』

もやすごみとして捨てず、分別して資源ごみとして出すとリサイクルして再生紙・再生衣類などの製品として生まれ変わります。

**新聞紙**  
重ねて十字にしぼる。



**トイレトペーパーの芯**  
つづしてまとめる。



**ダンボール**  
重ねて十字にしぼる。



**お菓子等の紙箱**  
つづしてしぼる。



**カーテン**  
レースも可。



**衣類**  
ボタンはつけたまま。



**カレンダー**  
紙の部分のみ。



**はがき**  
個人情報塗つぶす。



POINT

～ごみ出しのコツ～

※分別方法・収集日程等詳細は WEB で確認 →



1. 分別して捨てる



分別しないと焼却や埋め立てに余分な費用がかかる。分別により再生利用が可能。

2. 生ごみは水切り



水分を切ると量が減るだけでなく、臭いの発生も抑えられるという効果がある。

3. リサイクル家具



綺麗な家具は「リサイクル家具」と明記。リサイクル工房で修復後、格安で販売できる。

4. 汚れを落とす



汚れがついたままだとリサイクルの妨げに。洗ってキレイにしてから分別へ。

5. 自転車には「不用品」



放置・盗難自転車と区別するため、粗大ごみとして自転車を出す場合は「不用品」と明記。

6. リサイクルボックス活用



小型家電はリサイクルボックスに入れてレアメタルを回収。(役場・藤久保・竹間沢公民館)

ごみから資源へ きちんと分別

もやすごみを減らそう

何気なく捨ててしまっていた「もやすごみ」。中にはきちんと分別すれば、再利用できるものもたくさんあります。一人ひとりの意識で「エコでクリーンな三芳町」を作りましょう。

問 環境課環境対策担当 内線 217

紙もリサイクル

もやすごみとして捨てられやすいものの中にも、実はリサイクルできるものもたくさんあります。新聞紙やダンボールは「古紙類」として、お菓子の箱やトイレトペーパーの芯など

資源ごみを分別

リサイクルができないもやすごみと同じ袋の中に、資源ごみが紛れていたとしても、焼却処理の後、お金をかけて撤去または埋め立て処理をされます。資源ごみをきちんと分別し、もやすごみの量を減らすことで、限りある資源を有効利用することが出来ます。また、焼却による二酸化炭素の排出量を減らし、エコにも繋がります。



芳町のごみ処理を担当する、ふじみ野市・三芳町環境センターで